

下市町「教育大綱」についてのアンケート結果報告

R7.9 下市町教育委員会

現在の下市町「教育大綱」は令和3年度からの5年間がその期間となっており、今年度が最終年度です。5年間を総括し、次の5年間へと進んでいくため、「教育大綱」に掲げられた「教育における基本方針（全19項目）」についてのアンケートを実施しました。その結果を報告します。なお、この結果は総合教育会議において策定される新「教育大綱」の参考資料とします。

学校教育（下市あきつ学園）

- 「(1) ICT 技術で広がる新しい学びを推進している」については、「良好」「おおむね良好」としたのが、82.2% 「(7) ICT 技術を敬遠せずに使えるスキルを身につけ、情報活用力を育成している。」については、「良好」「おおむね良好」としたのが、84.9%と高くなっている。ICT を活用して、情報活用力を高めるとともに、学習活動の効率化につなげ、さらには、インプットした情報をアウトプットできるための能力の育成を目指します。
- 「(6) 具体的な読書活動を取り入れ、豊かな読書の習慣を身に付けている。」については、「やや不十分」「不十分」としたのが49.3.%と約半数です。読書習慣を身に付けることは、学習面の基礎・基本である「読み・書き」に関連し、語彙力・文章力が高まります。また、豊かな人生を送るための指針にもなり得ます。子どもたちが読書に親しむためのきっかけづくりを工夫・改善していくことを課題とします。
- 「(8) 科学的なものの見方を通して結論に導く力、分析的な思考力を育てている。」については、「良好」「おおむね良好」としたのが、57.9%とやや低くなっています。「総合的な学習の時間」を中心とした問題解決型学習として取り組んでいる「下市学」については、昨年度は、全学年とも学習内容の充実や発表の仕方の工夫が見られました。今年で3年目となり、知識・技能を身に付けたいうえて、子どもたちの考えや思いを引き出し、つなげ広げていくための授業づくりを重視します。
- 「(12) 生涯スポーツの基礎として、運動好きの子どもを育てるための授業や運動部の方針を示している。」については、「良好」「おおむね良好」としたのが、65.8%となっています。健やかな身体を育むためには、健全な食生活が重要です。他のアンケート調査においても、「朝ごはんを食べていますか」の質問に対する肯定的な回答は、全国平均よりも低位の状態にあります。「早寝早起き朝ごはん」と言われるように、食生活を含めた生活習慣の指導・改善していくことを重視します。
- 「(14) お互いが違いを認め合う雰囲気を作り、初期対応を重視して「いじめ」等をなくそうとしている。」について、「不足」「やや不十分」としたのが、32.8% 「(15) 道徳の授業やあらゆる場面で、国際社会でも通用するような人権感覚を育てている。」については、「不足」と「やや不足」としたのが、38.3%であり、道徳教育の充実をはじめ、これまで以上に子どもたちが安心して生活し学ぶことができる集団を目指し、取り組んでいく必要があります。

園教育（下市こども学園）

- 「（１）園・小・中一貫した郷土・伝統文化を充実させ、課題解決学習に取り組んでいる。」及び「（５）科学的なものの見方を通して結論に導く力、分析的な思考力を育てている。」がともに、「良好」「おおむね良好」としたのが、ともに57.9%となっています。課題解決学習、科学的・分析的な思考力となると、ハードルが高く感じられますが、園では、「遊び」「学び」等の中に、それらのことにつながっている内容が随所に含まれています。
- 「（２）ALT を活用しながら、実践的な英語力を育むための授業を研究している。」については、「良好」「おおむね良好」としたのが、52.6%となっています。１学期までは、ALT が１名配置であったため、こども園には、月１回の訪問でした。２学期からは、ALT が２名配置となり、こども園で週１回の訪問となって、英語に親しむための取組がこれまで以上に充実していくことを期待しています。
- 「（９）環境問題等と向き合い、持続可能な社会の実現を目指す知識・態度を養っている。」については、「良好」「おおむね良好」としたのが、52.6%と低位の状態にあります。例えば、節電や節水など生活の中で、身近なことから継続的に学んでいくことが大切です。
- 「（１２）個々の課題を把握し、可能性を最大限に伸ばす特別支援教育を行っている。」について、「良好」「おおむね良好」としたのが、100%と最高値を示しています。こども園からあきつ学園まで切れ目のない支援ができるように、さらなる連携を図ります。
- 「（１４）安全・安心を基本に、施設・設備を最善の状態を維持している。」については、「良好」「おおむね良好」としたのが、42.1%と低位な状態にあります。園舎の老朽化に伴い、修理・修繕箇所が増えています。子どもの数が少なくなっていることも鑑み、園舎の改築に向けた検討が必要です。

社会教育

- 「（３）町展や芸能発表会等を実施し、文化・芸術活動支援を充実させている。」については、「良好」「おおむね良好」としたのが、90.4%と高い数値を示しています。これからも多くの町民の皆さまにご参加いただけるよう、活動の継続と活性化を図ります。
- 「（５）町の文化財や歴史遺産を保護・活用し、文化財への認識を高めている。」については、「良好」「おおむね良好」としたのが、51.6%と低位でした。現在、下市町内には指定文化財として、38件の文化遺産があり、寺院や自治会等で管理していただいています。しかし、町民の皆さまに認識を深めていただけていないことが明らかです。また町内には、まだまだ発掘されていない文化財があるのではないのでしょうか。大きな課題です。
- 「（６）足を運びたいくなるような図書館運営と読書の啓発を行っている。」については、「不足」「やや不十分」としたのが、38.7%でした。図書館まつり等は、年々参加者が増え、盛り上がりを見せているが、平時の取組の工夫改善が重要です。
- 「（８）自立した社会性豊かな青少年の育成を、町ぐるみで促進している。」については、「不足」「やや不十分」としたのが、38.7%でした。現在、コミュニティスクールの事業で学校支援ボランティアとして、町民の皆さまにご協力・ご支援をいただいています。今後、組織を拡大し、取組の充実を図ります。

- 「(9) 家庭教育での基本的な生活習慣を基盤に、望ましい人間関係を構築している。」については、「やや不十分」としたのが、38.7%でした。日常生活の基盤となる生活習慣は、発達や健康に大きな影響を及ぼします。家庭教育学級の充実等を含め、重要性を啓発していく必要があります。
- 「(10) 幅広い子育て支援を行うとともに、家庭及び地域教育力の向上を図っている。」については、「不足」「やや不十分」としたのが、35.5%でした。昨年度、「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定したところです。進行管理を行い、支援を充実させていくことが必要です。